



舟渡小だより

令和5年12月25日

板橋区立舟渡小学校

校長 梶田 佳江

令和5年度

冬休み号

志村五中・舟渡小 響き合う学びのエリア

2学期を振り返って

校長 梶田 佳江

本日、2学期の終業式を迎えました。今学期は“展覧会”があり、体育館中が芸術作品で埋め尽くされました。その中には、6年生主導の鑑賞イベントがあり、その活躍ぶりを見た下級生たちの大きな成長も見られた2学期でした。様々な活動を通して、子どもたちには大きな達成感を味わわせ、自信につながられたなら、と思っております。

また、12月から朝のモジュールタイムを導入しました。元気に朝遊びをした後に、読書や漢字学習に取り組んでいます。“動”から“静”へ、この15分間を有効に活用し、落ち着いた気持ちで1時間目のスタートが切れています。地域の方の読み聞かせボランティアも再開しました。

保護者や地域の皆様におかれましては、たくさんのご支援をいただき、ありがとうございました。来年も変わらぬご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



4年ぶいの「舟っ子まつり」

校長室のドアに「校長先生へのお手紙」ポストがあります。その中に「校長先生、舟っ子まつりを復活させてください。」というお手紙が入りました。そこで、急きょ特別活動部の先生と相談をしました。準備期間を考えて、今年度は5・6年生がお店を出して1～4年生はお店巡りをする新しい方式で、そして、12月の土曜授業プランで高学年の活躍を見ていただく計画を立てました。

実施の条件は、①準備に時間をかけすぎないこと。②エコを考えて、できるだけゴミを出さないこと。③安全な遊びであること。④片付けまでし

っかりと行うこと。としました。

6年生は、各学級と算数少人数教室を、5年生は体育館を会場とし、下級生を優しく迎え入れてくれました。出し物も工夫を凝らしたものでばかりでした。「楽しかった。」「もっと遊びたかった。」という感想がたくさんありました。

何事も企画・運営をし、振り返りをするのが大切であると考えます。この経験を学習面でも生かしてほしいと願っています。



1年生の成長「たのしい どんぐりフェスティバル」

①1年生がお店当番、2～6年生をご招待！

生活科でどんぐりを使っておもちゃを作り、「どんぐりフェスティバル」を開催する計画を立てた1年生は、そこに保育園児を招待することにしました。

しかし、驚いたのは次の企画、何と前週の20分休みに2～6年生を招待したのです。しかも、給食の時間に放送で呼びかけたのも1年生でした。素晴らしい！そして、大盛況でした。



②学びのエリア「志村橋保育園」5歳児さんをご招待！

12月18日（月）に志村橋保育園5歳児さんを招待し、「どんぐりフェスティバル」を行いました。前週に上級生を招いた時とはまた対応の仕方が違い、とても優しく案内をしたり、遊び方を教えたりしていました。折り紙やどんぐりのお土産、スタンプカードも用意して大変喜んでいただきました。



それでは、どうぞよいお年をお迎えください。